

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 22 日 (2013.8.22)

【公表番号】特表 2012-531977 (P2012-531977A)

【公表日】平成 24 年 12 月 13 日 (2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報 2012-053

【出願番号】特願 2012-518693 (P2012-518693)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

A 6 1 M 16/00 3 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 2 日 (2013.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気体供給源；

気体排出口；

患者と通じる第 1 チャンバ；

前記患者から離間して配置され、前記第 1 チャンバ及び大気と通じる第 2 チャンバ；及
び

2 つのチャンバを画定し、音を減衰させる多孔性隔壁；を含むことを特徴とするマスク

。

【請求項 2】

高圧気体供給源と連結した第 1 孔；

高圧気体の排出のための第 2 孔；及び

2 つ以上のチャンバを形成する多孔性隔壁；を含み、

前記チャンバに気体の流れ、第 1 チャンバは患者と通じ、第 2 チャンバは前記患者から
離間して配置されることを特徴とするマスク。

【請求項 3】

気体供給源と連結した導管をさらに含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のマスク。

【請求項 4】

前記多孔性隔壁に多数の気孔が形成されており、これらの気孔は前記チャンバと連結することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のマスク。

【請求項 5】

前記気孔の断面形態がテーパ形であることを特徴とする請求項 4 に記載のマスク。

【請求項 6】

鼻クッションをさらに含むことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のうちのいずれか一項に記載のマスク。

【請求項 7】

患者の顔面の一部と当接する第 1 チャンバ；

前記第 1 チャンバと通じ、前記患者の前記顔面から離間して配置される第 2 チャンバ；及び

前記 2 つのチャンバの間の境界を画定し、音を減衰させる多孔性隔壁；を含むことを特徴とするマスク。

【請求項 8】

前記多孔性隔壁にテーパ形の気孔が形成されることを特徴とする請求項 7 に記載のマスク。

【請求項 9】

前記第 1 チャンバが柔軟な材料からなることを特徴とする請求項 7 に記載のマスク。

【請求項 10】

麻酔用として使用されることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のうちのいずれか一項に記載のマスク。

【請求項 11】

圧縮気体を供給する方法であって、

圧縮気体源から気体がマスクに供給される段階；

前記気体が第 1 圧力で第 1 チャンバに送られる段階；

前記気体が第 2 圧力で第 2 チャンバに音響減衰手段を通して送られる段階；及び

前記気体が第 2 チャンバからマスク通路を通じて排出される段階；を含むことを特徴とする圧縮気体の供給方法。

【請求項 12】

前記気体が第 2 チャンバに送られたり排出されるとき、多数の気孔を含む音響減衰手段を通過することを特徴とする請求項 1 1 に記載の圧縮気体の供給方法。

【請求項 13】

前記気体が麻酔剤を含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の圧縮気体の供給方法。

【請求項 14】

前記気体が治療剤を含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の圧縮気体の供給方法。

【請求項 15】

前記気が大気よりも高い濃度の酸素を含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の圧縮気体の供給方法。